

シンポジウム「地籍整備」の開催 について

平成30年2月13日(火)に、シンポジウム「地籍整備」をさいたま新都心合同庁舎1号館 2階講堂で開催いたしました。

◆ **基調講演 「中長期的な地籍整備の推進に関する検討」概要報告**

講師:国土交通省 土地・建設産業局 地籍整備課 小門企画専門官

◆ **優良事例の紹介**

発表者:青梅市 建設部 管理課 地籍調査係長 森田地籍調査係長

◆ **パネルディスカッション**

登壇者:国土交通省 小門企画専門官、茨城県 助川係長、
銚田市 郡司係長、青梅市 森田係長、関東地整 今村係長

シンポジウムでは、今後の地籍整備のあり方を検討するために、平成29年6月～平成30年1月の間に全6回開催された「中長期的な地籍整備の推進に関する検討会」の概要について、小門企画専門官に講演していただくとともに、地籍整備に関する優良事例として、「地籍整備推進調査費補助金を利用した国土調査法第19条5項指定の活用事例」を森田係長から発表していただきました。

また、藤川部長の司会のもと、地籍整備の現状・課題、地籍整備の先進的な取組や公共事業連携による事業の円滑化など、今後の展望等について国・県・市の関係者が一同に会してパネルディスカッションを行いました。

地籍整備をテーマとしたシンポジウムは、関東地整として初めての試みでしたが、当日は、地籍調査を直接担当している職員のほか、用地業務に携わる職員や、実際に調査を行う測量会社の方など、250名に参加いただきました。

